

立山カルデラ砂防博物館 6月30日開館

大規模崩壊地“立山カルデラ”の大自然と砂防事業を紹介

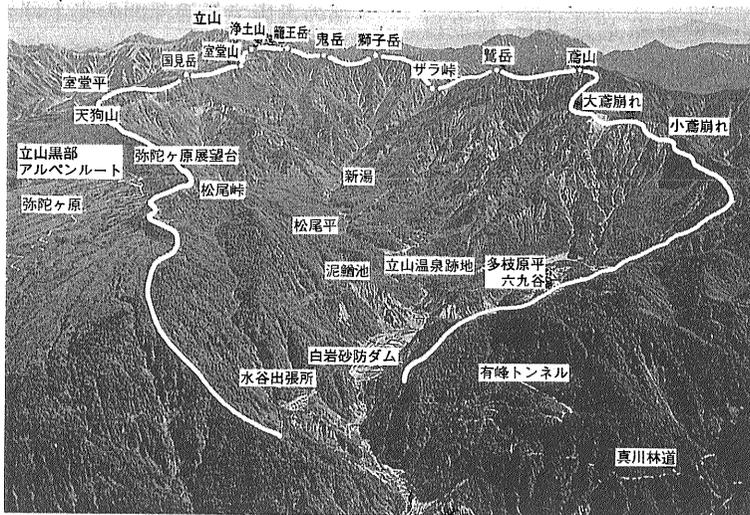


写真 立山・弥陀ヶ原台地と立山カルデラ。

北アルプス・立山の南に日本有数の崩壊地“立山カルデラ”があります。大雨が降ると立山カルデラ内にたまっている大量の土砂が土石流となって流れだし、下流の富山平野に土砂災害を引き起こしてきました。そのため、明治39年から日本有数の砂防事業が立山カルデラで続けられています。

本博物館の立山カルデラ展示室では、大規模崩壊地である立山カルデラがどのようにして形成されたのかを、地質・地震・河川の面から解説しています。特に、安政5年(1858)に跡津川断層を震源として発生した安政の飛越地震については、富山県民が受けた地震と洪水災害の経過をアニメ等で分かりやすく紹介しています。また、SABO展示室では工事用トロッコの実車が展示され、土砂災害の映像が上映されています。大型映像ホールでは320インチ・ハイビジョン立体映像で立山カルデラの四季と砂防事業を紹介しています。

当博物館では、立山カルデラの大自然と砂防施設を野外展示物と位置づけ、体験学習会を7月～10月にかけて30回開催します。学習会では解説員

の引率の下、トロッコやバスを利用して博物館から立山カルデラへ移動し、崩壊地“蔵崩れ”，土石流跡，立山温泉跡地，白岩砂防ダム，跡津川断層露頭等を見学し，立山カルデラの自然と郷土を護る砂防事業を身近に体験します。

開館時間 9：30～17：00(入館は16：30まで)

休館日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始

入場料 大人400円 高大生320円 小中生200円

交通 富山地方鉄道立山駅より徒歩1分

建設省北陸地建立山砂防工事事務所横
体験学習会 事前に博物館を見学し、専用葉書で
申し込み下さい。

問い合わせ先

立山カルデラ砂防博物館 〒930-1405
富山県中新川郡立山町芦嶽寺字ブナ坂68
TEL. 0764-81-1160
FAX. 0764-81-9100

ホームページ

<http://www.tatecal.or.jp/index.html>